

注3

大学番号：031

[平成22年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

事前伺い

電気通信大学 情報理工学部

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 係長 菊池誠治キクチセイジ

電話番号 042-443-5050

（夜間） 042-443-5050

F A X 042-443-5010

e-mail kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	17
3 既設大学等の状況	56
4 教員組織の状況	57
5 その他全般的事項	62

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

(2) 大学名

電気通信大学

(3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学部 総合情報学科 学士(工学)	4年	150人	3年次 6人	612人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 150 () []	人 () []	人 150 () []	人 () []	1.03倍							
志願者数	669 () [9]	() [-]	769 () [20]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]		
受験者数	502 () [7]	() [-]	450 () [17]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]		
合格者数	175 () [4]	() [-]	191 () [5]	() [-]								
B 入学者数	157 () [4]	() [-]	154 () [5]	() [-]								
入学定員超過率 B/A	1.04		1.02									

- (注) ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[4] 157	[-] -	[5] 154	[-] -					
2年次	/		[4] 157	[-] -					
3年次	/		/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次	/		/		/		[-] -	[-] -	
計	[4] 157		[9] 311		[-]		[-]		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [4]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 157人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [9]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 157人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 154人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学部 情報・通信工学科 学士(工学)	4年	210人	3年次 8人	856人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 210 () []	人 () []	人 210 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.01倍	
志願者数	1587 () [15]	() () []	1252 () [22]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	1216 () [12]	() () []	639 () [16]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	232 () [5]	() () []	237 () [6]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	217 () [7]	() () []	211 () [5]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.03		1.00							

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[7] 217	[-] -	[5] 211	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次	/		[7] 213	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		/		[-] -	[-] -	
4年次	/						/		
計			[7] 217	[12] 424	/				

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [7]	1.8%
	うち平成22年度入学者 4人	うち平成22年度 217人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学、転学 2人 ・除籍 2人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [12]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 213人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 211人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学部 知能機械工学科 学士(工学)	4年	140人	3年次 6人	572人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 140 () []	人 140 () []	人 140 () []	人 () () []	1.04倍					
志願者数	807 () [13]	() () [-]	888 () [21]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]		
受験者数	616 () [11]	() () [-]	434 () [19]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]	() () [-]		
合格者数	163 () [2]	() () [-]	160 () [3]	() () [-]						
B 入学者数	151 () [5]	() () [-]	142 () [4]	() () [-]						
入学定員超過率 B/A	1.07		1.01							

- (注) ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[5] 151	[-] -	[4] 142	[-] -					
2年次	/		[5] 150	[-] -					
3年次	/		/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
4年次	/		/		/		[-] -	[-] -	
計	[5] 151		[9] 292		[-]		[-]		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [5]	0.7%
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 151人	
	(主な退学理由) ・除籍 1人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [9]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 150人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 142人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学部 先進理工学科 学士(工学)	4年	190人	3年次 8人	776人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期										
A 入学定員	人 190 () []	人 () () []	人 190 () []	人 () () []	1.02倍							
志願者数	1046 () [7]	() () [-]	917 () [6]	() () [-]								
受験者数	790 () [4]	() () [-]	429 () [3]	() () [-]								
合格者数	219 () [2]	() () [-]	227 () [2]	() () [-]								
B 入学者数	194 () [4]	() () [-]	194 () [2]	() () [-]								
入学定員超過率 B/A	1.02		1.02									

- (注) ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[4] 194	[-] -	[2] 194	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次	/		[4] 194	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		/		[-] -	[-] -	
4年次	/						/		
計			[4] 194	[6] 388	[-]				

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [4]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 194人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [6]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 194人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 194人	
	(主な退学理由)		
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
情報理工学部 先端工学基礎課程 (夜間主) 学士(工学)	4年	100人	3年次 5人	410人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 100 () []	人 () []	人 100 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.01倍	
志願者数	168 () [0]	() () []	225 () [0]	() () []						
受験者数	167 () [0]	() () []	218 () [0]	() () []						
合格者数	108 () [0]	() () []	104 () [0]	() () []						
B 入学者数	102 () [0]	() () []	100 () [0]	() () []						
入学定員超過率 B/A	1.02		1.00							

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[0] 102	[-] -	[0] 100	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次	/		[0] 99	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		/		[-] -				
4年次	/						/		/		[-] -
計			[0] 102		[0] 199						[-] -

- (注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	2.9%
	うち平成22年度入学者 3人	うち平成22年度 102人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 1人 ・進路変更 1人 ・除籍 1人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 99人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 100人	
(主な退学理由)			
平成24年度 (平成24年4月1日～ 平成25年3月31日)	計 []	(累積)計 []	%
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	うち平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<情報理工学部 総合情報学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	哲学A	2・3前		2		1						
	哲学B	2・3後		2		1						
	倫理学A	2・3前		2			1					
	倫理学B	2・3後		2			1					
	心理学A	2・3前		2			1					
	心理学B	2・3後		2			1					
	歴史学A	2・3前		2								
	歴史学B	2・3後		2								
	科学史A	2・3前		2			1					
	科学史B	2・3後		2			1					
	文学A	2・3前		2		1						
	文学B	2・3後		2		1						
	美術A	2・3前		2								
	美術B	2・3後		2								
	音楽A	2・3前		2								
	音楽B	2・3後		2								
	経済学A	2・3前		2								
	経済学B	2・3後		2								
	社会学A	2・3前		2								
	社会学B	2・3後		2								
	法学A	2・3前		2								
	法学B	2・3後		2								
	政治学A	2・3前		2				1				
	政治学B	2・3後		2				1				
	地理学A	2・3前		2								
	地理学B	2・3後		2								
	社会思想史A	2・3前		2								
	社会思想史B	2・3後		2								
文化人類学A	2・3前		2									
文化人類学B	2・3後		2									
文章表現法	2・3前		2			1						
技術史	2・3前		2				1					
言語文化科目	言語文化基礎科目 I	1前	1			3 3	2 4					専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5	-4				専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4	-3				専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)
	Academic Spoken English II	1後	1			2 3	3 5	-4				専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
言語文化応用科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			3	2	1	0			専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	1	0			専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語文化基礎科目Ⅱ	独語第一	1・2前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		4	0	1				
	仏語第一	1・2前		1		4	0					
	仏語第二	1・2後		1		4	0					
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								
言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1～4前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
	選択独語第二	1～4後		1		4	0	1				
	選択仏語第一	1～4前		1								
	選択仏語第二	1～4後		1								
	選択露語第一	1～4前		1				1				
	選択露語第二	1～4後		1				1				
	選択中国語第一	1～4前		1				1				
	選択中国語第二	1～4後		1				1				
	選択韓国朝鮮語第一	1～4前		1								
	選択韓国朝鮮語第二	1～4後		1								
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3	4	1			専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	独語演習	2前		2		4	0	1				
	独語運用演習	2後		2				1				
	仏語演習	2前		2								
	仏語運用演習	2後		2								
	露語演習	2前		2				1				
	露語運用演習	2後		2				1				
	中国語演習	2前		2			1					
	中国語運用演習	2後		2			1					
	韓国朝鮮語演習	2前		2								
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2								
日本語演習	2後		2									
国際文化演習	2前		2									
言語表現演習	2前		2									
日本語・日本文化科目	日本語											専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)
	日本語第一	1前	2			4	2	4	0			
	日本語第二	1後	2			4	2	4	0			
	日本語第三	2前	2			1						
	日本文化科目											
日本文化A	1前		2									
日本文化B	1後		2									
日本文化C	2前		2									
日本文化D	2後		2									
日本文化E	2前		2					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1				4	3				専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			1	5	4				専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1	3	2				専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1	1					
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1								
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1								
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2-3後		2		4	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	生物学	1・2・3後		2				1				学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		4	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。 より教育内容に即した担当者に変更(23)
	材料化学	1・2後		2		2	1	1				より教育内容に即した担当者に変更(23)
	現代数学入門A	1-2-3後 2-3-4前		2		1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	現代数学入門B	2・3・4前		2				1				
上級科目	A類											
	エートス論	3・4前		2				1				
	人間と外交	3・4後		2				1				
	現代の世界政治	3・4後		2				1				
	宗教と倫理	3・4後		2				1				
	現代の教育	3・4前		2			1					
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2			1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
教育の歴史	3・4後		2			1						
人間と教育	3・4後		2			1						
B類	日本語による文章表現	3・4前		2			1					
	Reading Scientific Research	3・4前		2								
	Research Writing	3・4後		2								
	Research Presentation	3・4前		2								
	Advanced Reading in Academic English	3・4後		2								
	English for Interpersonal Communication	3・4前		2			1					
	English for Intercultural Communication	3・4後		2				1				
	Communication in Academic Environments	3・4前		2			1					
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後		2			1					
	Preparation for Overseas Study	3・4前		2								
	Preparation for Graduate School	3・4後		2								
	English for Examinations	3・4前		2								
	English for Workplaces	3・4後		2								
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2				1				
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2			1					
外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2									
外国語とその運用B【独語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2					1				
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2			1						
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C類	比較文化論	3・4後		2			1					
	異文化の理解											
	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
D類	認知言語学	3・4前		2				1				
	文化と言語	3・4後		2			1					
日本語	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	1					
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2			1					
	日本の科学と技術A	3・4前		2			1		1			
	日本の科学と技術B	3・4後		2			1		1			
	王朝物語の精神史	3・4前		2			1					
	江戸の社会と数学	3・4前		2				1				
	日本の内政と外交	3・4前		2				1				
	倫理思想論	3・4後		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
E類 科学技術と人間	数学の哲学	3・4前		2		1					学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加 (22)	
	科学技術と人間	3・4前		2								
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2			1					
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1						
	認識の諸相	3・4後		2								
	情報と職業	3・4前		2								
	F類 芸術と人間	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
		近代小説の人間学	3・4後		2		1					
	G類 現代の科学	環境論	3・4前 後		2						バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更 (22)	
		認知科学	3・4後		2			1				
		現代物理学を創った人々	3・4前		2							
		物理学の発展と最前線	3・4後		2							
		応用幾何学	3・4前		2							
		応用代数学	3・4後		2			1				
		現代化学	3・4後		2							
	H類 健康とスポーツの科学	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1				
		運動と筋の科学	3・4後		2			1				
	健康の科学	3・4後		2		1						
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2			1					
	体力の科学	3・4後		2			1					
	日常生活の対人関係	3・4前		2			1					
	現代社会と対人関係	3・4後		2			1					
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			1					
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			1					
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			1					
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			1					
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)		
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)		
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)		
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)		
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)		
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更 (23)		
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前		2			1					
	Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後		2			1					
実践教育科目	初年次導入科目											
	基礎科学実験A	1通	2			3 5	7 7	9 1	7	12 10	より教育内容に即した担当者に変更 (23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応 (22)	
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	3 3	4 2	2	3	より教育内容に即した担当者に変更 (23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応 (22)	
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	4 4	5 5	3	1 4	より教育内容に即した担当者に変更 (23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応 (22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	7	9		5	2 +	教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授9名、専任助教2名に対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教員1名、専任准教授9名、専任助教1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1通(隔週開講) 1→2前		2		6	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	総合コミュニケーション科学	2後		2		4						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1→2後 2・3前		2		1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2→3前 2・3後		2		1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通		2	3	1						キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前		2 2			4 4					
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前		2		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後		2 2								教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7					
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7					
専門科目	理数基礎科目											
	微分積分学第一	1前	2			4	3	2 +	3	1	0	専任准教授の負担軽減のため、専任教員3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)
	微分積分学第二	1後	2			2	2	3 +	4			専任准教授の負担軽減のため、専任教員2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名に対応(22)
	線形代数学第一	1前	2			2	1	3 +	2	1	0	教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授3名に対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教員1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	線形代数学第二	1後	2			2	1	+	2			教育内容充実のため、専任教員1名、専任准教授2名に対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教員1名、専任准教授1名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	解析学	1後	2			3	1	2 +	0	1	0	教育内容充実のため、専任教員3名、専任准教授2名に対応(23) 専任教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名に対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	数学演習第一	1前	1			+	0	+	2			より教育内容に即した担当者に変更(23)
	数学演習第二	1後	1				2	3 +	4	1	0	専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名に対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任) (22)
	物理学概論第一	1前	2			6	9	6	3			より教育内容に即した担当者への変更(22)
物理学概論第二	1後	2			7 6	8	5 6	4			より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専 門 科 目	信頼性工学	3後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
	品質管理	3後 前		2		1						
	心理情報学	3後		2			1					
	マーケティング科学	3後		2								
	金融工学	3後		2			1					
	ソフトウェア工学	3後		2				1				
	認知工学	3後		2			1					
	多変量解析	3後		2			1					
	情報と法規	3前		2								
	社会情報論	3前		2		1						
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2					1			
	情報処理演習第二	2後		2					1			
	③ プログラミング言語実験	3前		2			13	14	2	8		
	セキュリティ情報学実験	3後		2			5	4		1		
	輪講	4前		1			13	14	2	8		
	卒業研究	4後		4			13	14	2	8		
	コンテンツセキュリティ	3後			2		1					
	ネットワークセキュリティ	3後			2							
	ユビキタスネットワーク	3後			2		1					
	オペレーティングシステム	3後			2		1					
	数論アルゴリズム	3前			2		1					
	物体認識論	3後			2			1				
	情報通信システム	3前			2			2				
	メディアネットワーク	3前			2		1					
	暗号理論	3後			2		1					
	ソフトウェアセキュリティ	3後			2			1				
	ハードウェアセキュリティ	3後			2			1				
	計算機アーキテクチャー	3前			2		1					
	アルゴリズム論	3前			2			1				
ソフトウェア工学	3後			2				1				
コンピュータネットワーク	3後 前			2						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)		
信頼性工学	3後			2		1						
情報と法規	3前			2								
セキュリティ情報学特別講義	3前			2								
社会情報論	3前			2		1						
基礎数学演習第一	1前			1			1	2	1	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎数学演習第二	1後			1			1	2	1	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第一	1前			1			2	1	1	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
基礎物理学演習第二	1後			1			2	1	1	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)	
情報処理演習第一	2前			2					1			
情報処理演習第二	2後			2					1			

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 46	科目 251	科目 0	科目 297	科目 48	科目 254	科目 0	科目 302	
				[2]	[3]	[0]	[5]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学部 情報・通信工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前	2			1					
		哲学B	2・3後	2			1					
		倫理学A	2・3前	2				1				
		倫理学B	2・3後	2				1				
		心理学A	2・3前	2				1				
		心理学B	2・3後	2				1				
		歴史学A	2・3前	2								
		歴史学B	2・3後	2								
		科学史A	2・3前	2					1			
		科学史B	2・3後	2					1			
		文学A	2・3前	2				1				
		文学B	2・3後	2				1				
		美術A	2・3前	2								
		美術B	2・3後	2								
		音楽A	2・3前	2								
		音楽B	2・3後	2								
		経済学A	2・3前	2								
		経済学B	2・3後	2								
		社会学A	2・3前	2								
		社会学B	2・3後	2								
		法学A	2・3前	2								
		法学B	2・3後	2								
		政治学A	2・3前	2						1		
		政治学B	2・3後	2						1		
		地理学A	2・3前	2								
		地理学B	2・3後	2								
		社会思想史A	2・3前	2								
		社会思想史B	2・3後	2								
		文化人類学A	2・3前	2								
		文化人類学B	2・3後	2								
文章表現法	2・3前	2				1						
技術史	2・3前	2						1				
言語文化科目	言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1前	1			3 3	2 4				専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22) 専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5				
		Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4				
		Academic Spoken English II	1後	1			2 3	3 5				
言語文化応用科目I	言語文化応用科目I	Academic English for the Second Year I	2前	1			3	2	1	0		専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	1	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語文化基礎科目Ⅱ	独語第一	1・2前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		4	0	1				
	仏語第一	1・2前		1		4	0					
	仏語第二	1・2後		1		4	0					
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								
言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1~4前		1		4	0	1			平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	選択独語第二	1~4後		1		4	0	1				
	選択仏語第一	1~4前		1								
	選択仏語第二	1~4後		1								
	選択露語第一	1~4前		1				1				
	選択露語第二	1~4後		1				1				
	選択中国語第一	1~4前		1		1						
	選択中国語第二	1~4後		1		1						
	選択韓国朝鮮語第一	1~4前		1								
選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1									
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3	4	1		専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語演習	2前		2		4	0	1				
	独語運用演習	2後		2				1				
	仏語演習	2前		2								
	仏語運用演習	2後		2								
	露語演習	2前		2				1				
	露語運用演習	2後		2				1				
	中国語演習	2前		2		1						
	中国語運用演習	2後		2		1						
	韓国朝鮮語演習	2前		2								
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2								
	日本語演習	2後		2								
国際文化演習	2前		2									
言語表現演習	2前		2									
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			4	2	4	0		専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
	日本語第二	1後	2			4	2	4	0			
	日本語第三	2前	2			1						
	日本文化A	1前		2								
	日本文化B	1後		2								
	日本文化C	2前		2								
日本文化D	2後		2									
日本文化E	2前		2				1					
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1					4	3		専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	健康論	1・2後	1			1		5	4			
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1		3	2			
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1		1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1								
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1								
理工系 教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2- 3後		2		1	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更 (22) 学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						
	生物学	1・2・3後		2			1					
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1	0	1				
	材料化学	1・2後		2		2	1	1				
	現代数学入門A	+2-3後 2・3・4前		2		1						
	現代数学入門B	2・3・4前		2				1				
上級科目	A類 エートス論	3・4前		2				1				学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加 (23)
	人間と外交	3・4後		2				1				
	文化と現代社会 現代の世界政治	3・4後		2				1				
	宗教と倫理	3・4後		2				1				
	現代の教育	3・4前		2			1					
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2			1					
	教育の歴史	3・4後		2				1				
人間と教育	3・4後		2				1					
B類 言語 による コミュニ ケーシ ョン	日本語による文章表現	3・4前		2		1						
	Reading Scientific Research	3・4前		2								
	Research Writing	3・4後		2								
	Research Presentation	3・4前		2								
	Advanced Reading in Academic English	3・4後		2								
	English for Interpersonal Communication	3・4前		2		1						
	English for Intercultural Communication	3・4後		2				1				
	Communication in Academic Environments	3・4前		2			1					
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後		2			1					
	Preparation for Overseas Study	3・4前		2								
	Preparation for Graduate School	3・4後		2								
	English for Examinations	3・4前		2								
	English for Workplaces	3・4後		2								
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2				1				
外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2			1						
外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2									
外国語とその運用B【独語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2				1					
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2			1						
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C類 異文化 の理解	比較文化論	3・4後		2		1						
	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前		2				1				
	文化と言語	3・4後		2			1					
D類 日本学	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	1					
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2			1					
	日本の科学と技術A	3・4前		2			1		1			
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	1					
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1						
	江戸の社会と数学	3・4前		2			1					
	日本の内政と外交	3・4前		2				1				
	倫理想論	3・4後		2				1				
E類 科学技術 と人間	数学の哲学	3・4前		2		1						学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加 (22)
	科学技術と人間	3・4前		2								
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2				1				
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1						
	内包的文脈の諸相	3・4後		2			1					
	認識の諸相	3・4後		2								
情報と職業	3・4前		2									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
F 類 芸 術 と 人 間 G 類 環 境 論 認 知 科 学 現 代 の 科 学 H 類 身 体 運 動 の バ イ オ メ カ ニ ク ス 運 動 と 筋 の 科 学 健 康 と ス ポ ー ツ の 科 学 国 際 科 目	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
	近代小説の人間学	3・4後		2		1					
	環境論	3・4前 後		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	認知科学	3・4後		2			1				
	現代物理学を創った人々	3・4前		2							
	物理学の発展と最前線	3・4後		2							
	応用幾何学	3・4前		2							
	応用代数学	3・4後		2			1				
	現代化学	3・4後		2							
	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1				
	運動と筋の科学	3・4後		2			1				
	健康の科学	3・4後		2			1				
	エイジングの健康科学	3・4前		2			1				
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2			1				
体力の科学	3・4後		2			1					
日常生活の対人関係	3・4前		2			1					
現代社会と対人関係	3・4後		2			1					
UEC Academic Skills I A (Computer Literacy) UEC Academic Skills I B (Computer Literacy) UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication) UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication) UEC Academic Skills III A (Research and Presentation) UEC Academic Skills III B (Research and Presentation) UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing) UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing) UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing) UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing) Applicable Modelling with Mathematics 1 Applicable Modelling with Mathematics 2	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2		1					
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2		1					
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2		1					
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2		1					
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
実践 教 育 科 目	初年次 導 入 科 目										
	基礎科学実験A	1通	2			3 5	9 7	1 4	7 7	12 10	より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10名で対応(22)
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	4 3	4 2		3	より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	4 1	4 5	1 3	4 5	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任。より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	7	9			2 5	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1									就業力育成強化のための科目を新設(23) 就業力育成強化のための科目を新設(23) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23) 教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23) キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1									
	電気通信大学概論	1通(隔週開講) 1+2前		2		6	0					
	総合コミュニケーション科学	2後		2		4						
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1+2後 2・3前		2		1						
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2+3前 2・3後		2		1						
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2-3			1						
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前		2 2			4 4					
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前		2		1						
	知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後		2 2								
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7					
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7					
専門科目	理数基礎科目										専任教員の負担軽減のため、専任教員3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22) 専任教員の負担軽減のため、専任教員2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22) 教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22) より教育内容に即した担当者への変更(23) 専任教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22) より教育内容に即した担当者への変更(22) より教育内容に即した担当者への変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22) 平成22年度に専任教授1名が定年退職、専任教授1名が休職及び専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)	
	微分積分学第一	1前	2			4	3	2 1	3 3	1		0
	微分積分学第二	1後	2			2		3 2	4 4			
	線形代数学第一	1前	2			2	1	3 1	2 2	1		0
	線形代数学第二	1後	2			2	1	1	2			
	解析学	1後	2			3		2 1	0 0	1		0
	数学演習第一	1前	1			1	0	1	2			
	数学演習第二	1後	1					3 2	4 4	1		0
	物理学概論第一	1前	2			6	9	6	3			
	物理学概論第二	1後	2			7 6	8	5 6	4 4			
化学概論	1前	2			2 4	5 5	5 2	3 3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
学科 専門 基礎 科目	プログラミング通論	2後	2				2	3	4	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授1名で対応(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 情報・通信工学に必要な応用数学等の基礎的な科目を効果的に修得させるため演習形式で行うもので、授業内容の統一性を図るため少数の適任者が担当することとした。(23) 情報・通信工学に必要な基礎電磁気学等の基礎的な科目を効果的に修得させるため演習形式で行うもので、授業内容の統一性を図るため少数の適任者が担当することとした。(23) 教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23) 教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(23) より教育内容に即した担当者への変更(23) 教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(23)			
	応用数学	2前	2				4	2							
	基礎電磁気学	2後	2				4	2	1						
	複素関数論	2前	2				1	1							
	離散数学	2前	2				1	4	2						
	情報・通信演習1	2前	1				18	0	18	0	3		0	13	2
	情報・通信演習2	2後	1				18	2	18	4	3		0	13	0
	基礎電気回路	2後	2					2	3						
	プログラミング演習	2後	1					2		1					
	情報・通信工学基礎	2後	2					4							
	情報通信と符号化	2後		2				4	2						
	力学	2前		2				1							
	波動と光	2前		2				1	1						
	量子力学	2後		2				4	0	1					
	確率統計	2前		2				4	2						
	基礎電子工学	2後		2				4	0	1					
	数値計算	2後		2				1							
	計算機通論	2前		2				1	1						
	① 専門 科目 情報 通信 システム コース	情報通信システム実験第一	3前	3				4	4	1				6	
情報通信システム実験第二A		3後	2				4	4	1			6			
情報通信システム実験第二B		3後	1				4	4	1			6			
輪講		4前	1				18	18	3			13			
卒業研究		4後	4				18	18	3			13			
電気数学		3前	2				1	2							
回路システム学		3前	2					2							
回路システム学演習		3前	1					2							
解析電磁気学		3前	2					2							
解析電磁気学演習		3前	1					2							
論理回路学		3前		2					2						
電子回路学		3後		2				1	1						
計測工学		3後		2				1	1						
信号処理論		3前		2				1	1						
通信システム学		3後		2				2	2						
情報理論		3前		2				2							
符号理論		3後		2					1						
集積回路学		4前		2				1							
コンピュータネットワーク		3後		2					1						
伝送回路論		3後		2					2						
アルゴリズムとデータ構造論		4前		2				10	7	1		5			
電磁波工学		4前		2					1						
暗号理論		4前		2				1							
線形システム理論		3後		2				1							
統計数学		3後		2											
光通信工学		4前 3後		2				1							
電子工学工房		1~4通		2				4	7	1		1			
宇宙通信工学		3~4通		2				1	2						
通信法規		4後		2											
基礎数学演習第一		1前		1				4	2	4	0				
基礎数学演習第二		1後		1				4	2	4	0				
基礎物理学演習第一		1前		1				2	1	4	2				
基礎物理学演習第二		1後		1				2	1	4	2				
情報処理演習第一	2前		2						1						
情報処理演習第二	2後		2						1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
② 専門科目 電子情報システムコース	電子情報システム実験第一	3前	3			4	7	1	1			
	電子情報システム実験第二A	3後	2			4	7	1	1			
	電子情報システム実験第二B	3後	1			4	7	1	1			
	電子情報システム輪講	4前	1			18	18	3	13			
	卒業研究	4後	4			18	18	3	13			
	電気数学	3前	2			1	2					
	回路システム学	3前	2				2					
	回路システム学演習	3前	1				2					
	電子回路学	3後	2			1	1					
	論理回路学	3前	2				2					
	電子工学工房	1~4通		2		4	7	1	1			
	宇宙通信工学	3~4通		2		1	2					
	計測工学	3後	2			1	1					
	解析電磁気学	3前	2				2					
	解析電磁気学演習	3前	1				2					
	電磁波工学	4前	2				1					
	伝送回路論	3後	2				2					
	信号処理論	3前	2			1	1					
	線形システム理論	3後	2			1						
	情報理論	3前	2			1						
	集積回路学	4前	2			1						
	電子機器システム学	3後	2			1	1					
	音響工学	4前	2			1						
	画像処理工学	4前	2					1				
	アルゴリズムとデータ構造論	4前	2			10	7	1	5			
	通信法規	4後	2									
	基礎数学演習第一	1前	1					+	2	+	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
基礎数学演習第二	1後	1					+	2	+	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第一	1前	1					2	+	1	+	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
基礎物理学演習第二	1後	1					2	+	1	+	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
情報処理演習第一	2前	2							1			
情報処理演習第二	2後	2							1			
③ 情報理工学コース	情報数理工学実験第一	3前	4			4	3			2		
	情報数理工学実験第二A	3後	2			4	3			2	実験内容に即した科目名称に変更(22)	
	情報数理工学実験第二A	3後	2			4	3			2	実験内容に即した科目名称に変更(22)	
	情報数理工学実験第二B	3後	2			4	3			2		
	情報数理工学実験第二B	3後	2			4	3			2		
	輪講	4前	1			18	18	3	13			
	卒業研究	4後	4			18	18	3	13			
	シミュレーション理工学第一	3後	2			1						
	アルゴリズム論第一	3前	2						1			
	数値解析	3前	2			1						
	論理設計学	3前	2		2			2				
	オートマトン理論	3前	2			1						
	言語処理系論	3前	2			1						
	ヒューマンインタフェース	3前	2					1				
	プログラム言語論	3前	2			1						
	コンピュータグラフィックス	3前 4後	2					1			バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)	
	ハイパフォーマンスコンピューティング第一	3後	2					1				
	数理解析	3後	2			1						
	コンピュータ設計論	3後	2					1				
	アルゴリズム論第二	3後	2			1						
	コンピュータネットワーク	3後	2					1				
	データベース論	4前	2									
	数理計画法	3後	2			1						
	統計数学	3後	2									
	シミュレーション理工学第二	4前	2			2	3					
	ハイパフォーマンスコンピューティング第二	4後	2			1						
	知的情報処理	4後	2			1						
計算理論	4後	2			1							
情報工学工房	1~4通	2										
基礎数学演習第一	1前	1					+	2	+	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎数学演習第二	1後	1					+	2	+	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)	
基礎物理学演習第一	1前	1					2	+	1	+	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
基礎物理学演習第二	1後	1					2	+	1	+	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
情報処理演習第一	2前	2							1			
情報処理演習第二	2後	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
④ 専 門 科 目	コンピューサイエンス実験第一	3前	4			6	4	1	3		
	コンピューサイエンス実験第二A	3後	2			6	4	1	3		
	コンピューサイエンス実験第二B	3後	2			6	4	1	3		
	輪講	4前	1			18	18	3	13		
	卒業研究	4後	4			18	18	3	13		
	アルゴリズム論第一	3前	2					1			
	論理設計学	3前	2				2				
	オペレーティングシステム論	3後	2			1					
	オートマトン理論	3前		2		1					
	プログラム言語論	3前		2		1					
	言語処理系論	3前		2		1					
	ヒューマンインターフェース	3前		2			1				
	シミュレーション理工学第一	3後		2		1					
	コンピュータグラフィックス	3前 4後		2			1				バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更 (23)
	ソフトウェア工学	3後		2		1					
	コンピュータ設計論	3後		2			1				
	コンピュータネットワーク	3後		2			1				
	アルゴリズム論第二	3後		2		1					
	ハイパフォーマンスコンピューティング第一	3後		2			1				
	数理解析	3後		2		1					
	データベース論	4前		2							
	数理解析	4前-3後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更 (22)
	統計数学	3後		2							
	知的情報処理	4後		2		1					
	計算理論	4後		2		1					
	情報工学工房	1~4通		2							
基礎数学演習第一	1前		1			+	2	+	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任 (23)	
基礎数学演習第二	1後		1			+	2	+	0	専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任 (23)	
基礎物理学演習第一	1前		1			2		+	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任 (23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応 (22)	
基礎物理学演習第二	1後		1			2		+	2	専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任 (23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応 (22)	
情報処理演習第一	2前		2					1			
情報処理演習第二	2後		2					1			

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
73	273	0	346	75	276	0	351	
				[2]	[3]	[0]	[5]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学部 知能機械工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合 文化 科目	人文・ 社会科学 科目	哲学A	2・3前	2		1						
	哲学B	2・3後	2		1							
	倫理学A	2・3前	2				1					
	倫理学B	2・3後	2				1					
	心理学A	2・3前	2				1					
	心理学B	2・3後	2				1					
	歴史学A	2・3前	2					1				
	歴史学B	2・3後	2					1				
	科学史A	2・3前	2					1				
	科学史B	2・3後	2					1				
	文学A	2・3前	2			1						
	文学B	2・3後	2			1						
	美術A	2・3前	2									
	美術B	2・3後	2									
	音楽A	2・3前	2									
	音楽B	2・3後	2									
	経済学A	2・3前	2									
	経済学B	2・3後	2									
	社会学A	2・3前	2									
	社会学B	2・3後	2									
	法学A	2・3前	2									
	法学B	2・3後	2									
	政治学A	2・3前	2					1				
	政治学B	2・3後	2					1				
	地理学A	2・3前	2									
	地理学B	2・3後	2									
社会思想史A	2・3前	2										
社会思想史B	2・3後	2										
文化人類学A	2・3前	2										
文化人類学B	2・3後	2										
文章表現法	2・3前	2			1							
技術史	2・3前	2					1					
言語 文化 科目	言語文化 基礎科目 I	Academic Written English I	1前	1		3 3	2 4				専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)	
		Academic Spoken English I	1前	1		2 3	3 5	4			専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
		Academic Written English II	1後	1		3 3	2 4	3			専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)	
		Academic Spoken English II	1後	1		2 3	3 5	4			専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
言語 文化 応用 科目 I	Academic English for the Second Year I	2前	1			3	2	4	0		専任教員の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	4	0		専任教員の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
言語文化基礎科目Ⅱ	独語第一	1・2前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)	
	独語第二	1・2後		1		4	0	1					
	仏語第一	1・2前		1		4	0						
	仏語第二	1・2後		1		4	0						
	露語第一	1・2前		1				1					
	露語第二	1・2後		1				1					
	中国語第一	1・2前		1									
	中国語第二	1・2後		1									
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1									
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1									
	言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1~4前		1		4	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)
		選択独語第二	1~4後		1		4	0	1				
		選択仏語第一	1~4前		1								
		選択仏語第二	1~4後		1								
選択露語第一		1~4前		1				1					
選択露語第二		1~4後		1				1					
選択中国語第一		1~4前		1			1						
選択中国語第二		1~4後		1			1						
選択韓国朝鮮語第一		1~4前		1									
選択韓国朝鮮語第二	1~4後		1										
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3	4	1		専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない(23)		
	独語演習	2前		2		4	0	1					
	独語運用演習	2後		2				1					
	仏語演習	2前		2									
	仏語運用演習	2後		2									
	露語演習	2前		2				1					
	露語運用演習	2後		2				1					
	中国語演習	2前		2			1						
	中国語運用演習	2後		2			1						
	韓国朝鮮語演習	2前		2									
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2									
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			4	2	4	0		専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)		
	日本語第二	1後	2			4	2	4	0				
	日本語第三	2前	2			1							
	日本文化A	1前		2									
	日本文化B	1後		2									
	日本文化C	2前		2									
	日本文化D	2後		2									
日本文化E	2前		2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1				4-3					専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			1	5-4					専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1	3-2					専任准教授1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1	1					
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1								
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1								
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2- 3後		2		4-0						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22) 学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						
	生物学	1・2・3後		2			1					
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		4-0	1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。 より教育内容に即した担当者に変更(23)
	材料化学	1・2後		2		2-1	1					より教育内容に即した担当者に変更(23)
	現代数学入門A	1+2-3後 2-3-4前		2		1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	現代数学入門B	2・3・4前		2			1					
上級科目	A類	エートス論	3・4前	2			1					
	人間と外交	3・4後	2				1					
	現代の世界政治	3・4後	2				1					
	宗教と倫理	3・4後	2				1					
	現代の教育	3・4前	2			1						
	教育と憲法(日本国憲法)	3・4前	2			1					学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)	
	教育の歴史	3・4後	2			1						
	人間と教育	3・4後	2			1						
	B類	日本語による文章表現	3・4前	2			1					
	Reading Scientific Research	3・4前	2									
Research Writing	3・4後	2										
Research Presentation	3・4前	2										
Advanced Reading in Academic English	3・4後	2										
English for Interpersonal Communication	3・4前	2			1							
English for Intercultural Communication	3・4後	2				1						
Communication in Academic Environments	3・4前	2			1							
Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後	2			1							
Preparation for Overseas Study	3・4前	2										
Preparation for Graduate School	3・4後	2										
English for Examinations	3・4前	2										
English for Workplaces	3・4後	2										
外国語とその運用A【独語】	3・4前	2										
外国語とその運用A【仏語】	3・4前	2										
外国語とその運用A【露語】	3・4前	2					1					
外国語とその運用A【中国語】	3・4前	2				1						
外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前	2										
外国語とその運用B【独語】	3・4後	2										
外国語とその運用B【仏語】	3・4後	2										
外国語とその運用B【露語】	3・4後	2					1					
外国語とその運用B【中国語】	3・4後	2				1						
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後	2										
C類 異文化の理解	比較文化論	3・4後		2		1						
	地域文化論	3・4後		2			1					
	文化干渉論	3・4前		2			1					
	認知言語学	3・4前		2			1					
	文化と言語	3・4後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
D E F G H 国際科目	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	1				
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2			1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2			1	1			
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	1				
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1					
	江戸の社会と数学	3・4前		2			1				
	日本の内政と外交	3・4前		2			1				
	倫理思想論	3・4後		2			1				
	数学の哲学	3・4前		2		1					
	科学技術と人間	3・4前		2							
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2			1				学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	科学的实在論の可能性	3・4前		2		1					
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1					
	認識の諸相	3・4後		2							
	情報と職業	3・4前		2							
	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
	近代小説の人間学	3・4後		2		1					
	環境論	3・4前後		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	認知科学	3・4後		2			1				
	現代物理学を創った人々	3・4前		2							
	物理学の発展と最前線	3・4後		2							
	応用幾何学	3・4前		2							
応用代数学	3・4後		2			1					
現代化学	3・4後		2								
身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1					
運動と筋の科学	3・4後		2			1					
健康の科学	3・4後		2		1						
エイジングの健康科学	3・4前		2		1						
スポーツとコミュニケーション	3・4後		2			1					
体力の科学	3・4後		2			1					
日常生活の対人関係	3・4前		2			1					
現代社会と対人関係	3・4後		2			1					
国際科目	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			1				
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			1				
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			1				
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			1				
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			1			教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)	
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前		2			1				
	Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践教育科目	初年次導入科目 基礎科学実験A	1通	2			3 5	9 7		12 12	10	より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	4 3			3	より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)
	コンピュータリテラシー	1前	2			2 3	4 4	1 1	4 2	4 5	より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	7	9			2 5
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1								就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1								就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1通(隔週開講) 1-2前		2		6	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	総合コミュニケーション科学	2後		2		4					
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1-2後 2-3前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2-3前 2-3後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通	2	3		1					キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前		2 2			4 4				
	ベンチャービジネス概論	3-4後 前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
知的財産権 技術者倫理	3-4前 後 3-4後		2 2							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)	
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7				
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7				
専門科目	理数基礎科目 微分積分学第一	1前	2			4-3	2 4	3 3	1	0	専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)
	微分積分学第二	1後	2			2	3 2	4 4			専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)
	線形代数学第一	1前	2			2	1 4	3 2	1	0	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	線形代数学第二	1後	2			2	1 4	2 2			教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	解析学	1後	2			3	2 +	0	+	0	教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23) 専任准教授、専任講師(平成21年度に専任准教授に昇任)の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	数学演習第一	1前	1			+	0	+	2		より教育内容に即した担当者に変更(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	数学演習第二	1後	1				3 2	-	4	0	教育内容充実のため、専任准教授4名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)	
	物理学概論第一	1前	2			6	9	6	3		より教育内容に即した担当者への変更(22)	
	物理学概論第二	1後	2			7 6	5 8	6	-	4	より教育内容に即した担当者に変更(23) より教育内容に即した担当者への変更(22)	
	化学概論	1前	2			2 4	5 5	2	3		平成22年度に専任教授1名が定年退職及び専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)	
学科 専門 基礎 科目	力学および演習	2前	3			2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(23) 専任准教授が平成22年度に教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授17名、専任准教授14名、専任助教9名で対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名で対応(23)	
	材料力学および演習	2後	3			1	1					
	メカトロニクス	2前	2			+	2					
	メカノデザイン	2後	2			1	1			1		
	機械力学および演習	2後	3			+	2	+	0			
	知能機械工学基礎	2後	2			+	14	17	+	12		14
	応用数学	2前		2				1				
	数値解析	2前		2				+	2			
	電磁気学および演習	2前		3			1					
	リサイクル工学	2後		2								
	確率統計	2前		2					1			
	プログラミング演習	2後		2					2			
	計算機工学	2後		2								
	電気回路および演習	2前		3			1	1				
計測工学概論	2後		2			1						
工学解析および演習	2後		3			2						
専門 科目	① 知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	12			12		
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	12			12		
	マシニングI	3前	2					1				
	マシニングII	3後	2					14	12			
	輪講	4前	1			14	12			12		
	卒業研究	4後	4			14	12			12		
	ロボットの機構と力学	3前	2					1				
	人間機械システム	3前	2					1				
	知能ロボット工学	3後	2					1				
	加工学および演習	3前		3				1	1			
	基礎制御工学および演習	3前		3				1				
	電子回路および演習	3前		3					2			
	熱力学および演習	3前		3				1	1			
	流体力学および演習	3後		3				1				
	材料工学	3後		2					1			
	メカトロニクス応用	3後		2				1	1			
	設計基礎工学	3前		2				1				
	機構要素設計	3前		2					1			
	電気エネルギーシステム	3前		2					1			
	電気電子計測	3前		2			2					
	生産システム工学	3後		2					1			
	現代制御工学	3後		2				1				
	計測システム工学	3後		2				1				
	信号処理工学	4前		2				1	1			
	生体システム工学	4前		2					1			
	デジタル制御	4前		2			1					
	自動車工学	4前		2								
航空宇宙工学	4前		2									
生物学実験	3前			2				1				
地学第一	1前			2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1			4	2	4	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			4	2	4	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第一	2前		2					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第二	2後		2					1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第二	2後		2					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
②	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	12			12		
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	12			12		
	マシンデザインI	3前	2									
	マシンデザインII	3後	2									
	輪講	4前	1			14	12			12		
	卒業研究	4後	4			14	12			12		
	設計基礎工学	3前	2			1						
	機構要素設計	3前	2					1				
	生産システム工学	3後	2					1				
	加工学および演習	3前		3		1	1					
	基礎制御工学および演習	3前		3		1			2			
	電子回路および演習	3前		3								
	流体力学および演習	3後		3		1	1					
	熱力学および演習	3前		3		1	1					
	材料工学	3後		2				1				
	メカトロニクス応用	3後		2		1	1					
	ロボットの機構と力学	3前		2				1				
	人間機械システム	3前		2				1				
	電気エネルギーシステム	3前		2				1				
	電気電子計測	3前		2		2						
	知能ロボット工学	3後		2		1						
	現代制御工学	3後		2		1						
	計測システム工学	3後		2		1						
	信号処理工学	4前		2		1	1					
	生体システム工学	4前		2			1					
	デジタル制御	4前		2		1						
	自動車工学	4前		2								
	航空宇宙工学	4前		2								
	生物学実験	3前			2			1				
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1			4	2	4	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			4	2	4	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	情報処理演習第一	2前		2					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第二	2後		2					1			教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
③	知能機械工学基礎実験I	3前	2			14	12			12		
	知能機械工学基礎実験II	3後	2			14	12			12		
	マシンデザインI	3前	2									
	マシンデザインII	3後	2									
	輪講	4前	1			14	12			12		
	卒業研究	4後	4			14	12			12		
	基礎制御工学および演習	3前		3		1						
	現代制御工学	3後		2		1						
	計測システム工学	3後		2		1						
	加工学および演習	3前		3		1	1					
	熱力学および演習	3前		3		1	1					
	電子回路および演習	3前		3					2			
	流体力学および演習	3後		3		1						
	材料工学	3後		2				1				
	メカトロニクス応用	3後		2		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ロボットの機構と力学	3前		2			1					
	人間機械システム	3前		2			1					
	設計基礎工学	3前		2		1						
	機構要素設計	3前		2			1					
	電気エネルギーシステム	3前		2			1					
	電気電子計測	3前		2		2						
	知能ロボット工学	3後		2		1						
	生産システム工学	3後		2			1					
	信号処理工学	4前		2		1	1					
	生体システム工学	4前		2			1					
	デジタル制御	4前		2		1						
	自動車工学	4前		2								
	航空宇宙工学	4前		2								
	生物学実験	3前			2		1					
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1			+	2	+	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			+	2	+	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
							+		+	2		教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2		1			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
							+		+	2		教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2					1			
	情報処理演習第二	2後		2					1			

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 60	科目 254	科目 12	科目 326	科目 62	科目 257	科目 12	科目 331	
				[2]	[3]	[0]	[5]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学部 先進理工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合文化科目	人文・社会科学科目	哲学A	2・3前		2		1						
		哲学B	2・3後		2		1						
		倫理学A	2・3前		2			1					
		倫理学B	2・3後		2			1					
		心理学A	2・3前		2			1					
		心理学B	2・3後		2			1					
		歴史学A	2・3前		2								
		歴史学B	2・3後		2								
		科学史A	2・3前		2			1					
		科学史B	2・3後		2			1					
		文学A	2・3前		2			1					
		文学B	2・3後		2			1					
		美術A	2・3前		2								
		美術B	2・3後		2								
		音楽A	2・3前		2								
		音楽B	2・3後		2								
		経済学A	2・3前		2								
		経済学B	2・3後		2								
		社会学A	2・3前		2								
		社会学B	2・3後		2								
		法学A	2・3前		2								
		法学B	2・3後		2								
		政治学A	2・3前		2				1				
		政治学B	2・3後		2				1				
		地理学A	2・3前		2								
		地理学B	2・3後		2								
		社会思想史A	2・3前		2								
社会思想史B	2・3後		2										
文化人類学A	2・3前		2										
文化人類学B	2・3後		2										
文章表現法	2・3前		2			1							
技術史	2・3前		2				1						
言語文化科目	言語文化基礎科目I	Academic Written English I	1前	1			3 3	2 4				専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)	
		Academic Spoken English I	1前	1			2 3	3 5	4			専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
		Academic Written English II	1後	1			3 3	2 4				専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当教員への変更 (22)	
		Academic Spoken English II	1後	1			2 3	3 5	4			専任教員及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任准教授の負担軽減のため、専任准教授4名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	言語文化応用科目I	Academic English for the Second Year I	2前	1			3	2	1	0			専任教員の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		Academic English for the Second Year II	2後	1			3	2	1	0			専任教員の負担軽減のため、専任教授2名に変更。専任准教授が平成22年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
言語文化基礎科目Ⅱ	独語第一	1・2前		1		1	0	1				平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22) 専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。(22)
	独語第二	1・2後		1		1	0	1				
	仏語第一	1・2前		1		1	0					
	仏語第二	1・2後		1		1	0					
	露語第一	1・2前		1				1				
	露語第二	1・2後		1				1				
	中国語第一	1・2前		1								
	中国語第二	1・2後		1								
	韓国朝鮮語第一	1・2前		1								
	韓国朝鮮語第二	1・2後		1								
言語文化応用科目Ⅱ	選択独語第一	1～4前		1		1	0	1			平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22) 平成22年度に専任准教授の補充による変更(23) 専任教授が平成21年度に定年退職のため後任を補充予定であり、その間、兼任教員で対応。(22)	
	選択独語第二	1～4後		1		1	0	1				
	選択仏語第一	1～4前		1								
	選択仏語第二	1～4後		1								
	選択露語第一	1～4前		1				1				
	選択露語第二	1～4後		1				1				
	選択中国語第一	1～4前		1			1					
	選択中国語第二	1～4後		1			1					
	選択韓国朝鮮語第一	1～4前		1								
	選択韓国朝鮮語第二	1～4後		1								
言語文化演習科目	英語演習	2前		2		4	3	4	1		専任教授及び専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 専任教授1名が平成21年度に定年退職のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	独語演習	2前		2		1	0	1				
	独語運用演習	2後		2				1				
	仏語演習	2前		2								
	仏語運用演習	2後		2								
	露語演習	2前		2				1				
	露語運用演習	2後		2				1				
	中国語演習	2前		2			1					
	中国語運用演習	2後		2			1					
	韓国朝鮮語演習	2前		2								
	韓国朝鮮語運用演習	2後		2								
	日本語演習	2後		2								
	国際文化演習	2前		2								
言語表現演習	2前		2									
日本語・日本文化科目	日本語第一	1前	2			1	2	1	0		専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 専任准教授が平成23年度に専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22) 教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)	
	日本語第二	1後	2			1	2	1	0			
	日本語第三	2前	2				1					
	日本文化A	1前		2								
	日本文化B	1後		2								
	日本文化C	2前		2								
日本文化科目	日本文化D	2後		2								
	日本文化E	2前		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
健康スポーツ科学科目	健康・体力づくり実習	1・2前	1				4	3				専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	健康論	1・2後	1			1	5	4				専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習A	2・3・4前		1		1	3	2				専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生涯スポーツ演習B	2・3・4後		1		1	1					
	生涯スポーツ演習C	2・3・4集中		1								
	生涯スポーツ演習D	2・3・4集中		1								
理工系教養科目	宇宙・地球科学	1・2後 1後2前 2- 3後		2		1	0					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更。 専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	物理学概論第三	2・3前		2		1						バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22) 学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
	生物学	1・2・3後		2				1				
	化学とエネルギー	2・3後 前		2		1	0	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更。 より教育内容に即した担当者に変更(23)
	材料化学	1・2後		2		2	1	1				より教育内容に即した担当者に変更(23)
	現代数学入門A	1-2-3後 2-3-4前		2		1						教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	現代数学入門B	2・3・4前		2				1				
上級科目	A類	エートス論	3・4前		2			1				
	文化と現代社会	人間と外交	3・4後		2				1			
		現代の世界政治	3・4後		2				1			
		宗教と倫理	3・4後		2				1			
		現代の教育	3・4前		2			1				
		教育と憲法(日本国憲法)	3・4前		2			1				学生の履修機会を増やすため、選択科目を追加(23)
		教育の歴史	3・4後		2			1				
		人間と教育	3・4後		2			1				
B類	日本語による文章表現	3・4前		2		1						
	Reading Scientific Research	3・4前		2								
	Research Writing	3・4後		2								
	Research Presentation	3・4前		2								
	Advanced Reading in Academic English	3・4後		2								
	English for Interpersonal Communication	3・4前		2		1						
	English for Intercultural Communication	3・4後		2				1				
	Communication in Academic Environments	3・4前		2		1						
	Exploring Issues in Science, Technology and Society	3・4後		2		1						
	Preparation for Overseas Study	3・4前		2								
	Preparation for Graduate School	3・4後		2								
	English for Examinations	3・4前		2								
	English for Workplaces	3・4後		2								
	外国語とその運用A【独語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【仏語】	3・4前		2								
	外国語とその運用A【露語】	3・4前		2				1				
	外国語とその運用A【中国語】	3・4前		2			1					
外国語とその運用A【韓国朝鮮語】	3・4前		2									
外国語とその運用B【独語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【仏語】	3・4後		2									
外国語とその運用B【露語】	3・4後		2				1					
外国語とその運用B【中国語】	3・4後		2			1						
外国語とその運用B【韓国朝鮮語】	3・4後		2									
C類	異文化の理解	比較文化論	3・4後		2		1					
	地域文化論	3・4後		2				1				
	文化干渉論	3・4前		2				1				
	認知言語学	3・4前		2				1				
	文化と言語	3・4後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
D 類 日本 学	日本語とコミュニケーションA	3・4前		2		1	1				
	日本語とコミュニケーションB	3・4後		2			1				
	日本の科学と技術A	3・4前		2			1	1			
	日本の科学と技術B	3・4後		2		1	1				
	王朝物語の精神史	3・4前		2		1					
	江戸の社会と数学	3・4前		2			1				
	日本の内政と外交	3・4前		2			1				
	倫理思想論	3・4後		2			1				
E 類 科学 技術と 人間	数学の哲学	3・4前		2		1					
	科学技術と人間	3・4前		2							
	伝統科学と近代科学の相克	3・4後		2			1				
	科学的実在論の可能性	3・4前		2		1					学生の学習機会を増やすため、選択科目を追加(22)
	内包的文脈の諸相	3・4後		2		1					
	認識の諸相	3・4後		2							
F 類 芸術と 人間	御伽草子の想像力	3・4前		2		1					
	近代小説の人間学	3・4後		2		1					
G 類 現代の 科学	環境論	3・4前 後		2							バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(22)
	認知科学	3・4後		2			1				
	現代物理学を創った人々	3・4前		2							
	物理学の発展と最前線	3・4後		2							
	応用幾何学	3・4前		2							
	応用代数学	3・4後		2			1				
H 類 健康と スポーツ の科学	現代化学	3・4後		2							
	身体運動のバイオメカニクス	3・4前		2			1				
	運動と筋の科学	3・4後		2			1				
	健康の科学	3・4後		2		1					
	エイジングの健康科学	3・4前		2		1					
	スポーツとコミュニケーション	3・4後		2			1				
	体力の科学	3・4後		2			1				
	日常生活の対人関係	3・4前		2			1				
国 際 科 目	現代社会と対人関係	3・4後		2			1				
	UEC Academic Skills I A (Computer Literacy)	1~4前		2			1				
	UEC Academic Skills I B (Computer Literacy)	1~4後		2			1				
	UEC Academic Skills II A (Cross-cultural Communication)	1~4前		2			1				
	UEC Academic Skills II B (Cross-cultural Communication)	1~4後		2			1				
	UEC Academic Skills III A (Research and Presentation)	1~4前 3~4前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills III B (Research and Presentation)	1~4後 3~4後		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV A (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4前 3~4前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills IV B (Comprehensive Reading and Summary Writing)	1~4後 3~4後		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V A (Maths and Scientific Writing)	1~4前 3~4前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	UEC Academic Skills V B (Maths and Scientific Writing)	1~4後 3~4後		2			1				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23)
	Applicable Modelling with Mathematics 1	3・4前		2			1				
Applicable Modelling with Mathematics 2	3・4後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践教育科目	初年次導入科目 基礎科学実験A	1通	2			3 5	9 7		12 12	10	より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授7名、専任准教授7名、専任助教10で対応(22)
	基礎科学実験B	1通	2			1 2	4 2		3		より教育内容に即した担当者に変更(23) 実験教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名、専任助教3名で対応(22)
	コンピューターテラシー	1前	2			2 3	4 1	1 2	4 1	5	より教育内容に即した担当者に変更(23) 教育内容充実のため、より教育内容に即した担当者へ変更し、専任教授1名、専任准教授3名、専任講師2名、専任助教5名で対応(22)
	基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	7	9	2 5	1	教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教2名で対応(23) 専任助教の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授9名、専任助教1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
倫理・キャリア教育科目	キャリア教育演習	1通(隔週開講)	1								就業力育成強化のための科目を新設(23)
	キャリア教育演習リーダー	3通(隔週開講)	1								就業力育成強化のための科目を新設(23)
	電気通信大学概論	1通(隔週開講) 1→2前		2		6	0				教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更(23) 教育内容充実のため、学長及びOB等の兼任教員によるオムニバス形式の授業に変更(22)
	総合コミュニケーション科学	2後		2		4					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン1 キャリアデザインA	1→2後 2・3前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	キャリアデザイン2 キャリアデザインB	2→3前 2・3後		2		1					教育体系のバランスを考慮し、配当年次を変更するとともに、科目の位置付けを、よりわかり易くするため名称を変更(23)
	エンジニアリングデザイン キャリアデザインC	3通		2—3		1					キャリア教育の後半段階(3年次)において、PBL手法による教育内容を充実・強化し、単位数を増加するとともに、内容をより反映した科目名に変更(23)
	インターンシップ インターンシップ(海外)	3前 3前		2 2			4 4				
	ベンチャービジネス概論	3・4後 前		2		1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	知的財産権 技術者倫理	3・4前 後 3・4後		2 2							教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
技術英語科目	Technical English - Basic English for Science	3前	2			7	7				
	Technical English - Intermediate English for Science	3後	2			7	7				
専門科目	理数基礎科目 微分積分学第一	1前	2			4 1	3 3	1	0		専任准教授の負担軽減のため、専任教授3名、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) より教育内容に即した担当者への変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任(22)
	微分積分学第二	1後	2			2	3 2	4			専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授2名、専任准教授4名で対応(22)
	線形代数学第一	1前	2			2 1	3 2	1	0		教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授3名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名に変更及び専任講師1名が平成21年度に専任准教授に昇任。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	線形代数学第二	1後	2			2 1	1 2				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名で対応(23) 専任教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	解析学	1後	2			3	2 1 0	1	0		教育内容充実のため、専任教授3名、専任准教授2名で対応(23)
	数学演習第一	1前	1			1	0 1 2				専任准教授、専任講師（平成21年度に専任准教授に昇任）の負担軽減のため、専任教授3名で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	数学演習第二	1後	1				3 2 -4	1	0		より教育内容に即した担当者に変更(23)
	物理学概論第一	1前	2			6	9 6 3				専任准教授の負担軽減のため、専任准教授3名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	物理学概論第二	1後	2			6	7 8 6 -4				教育内容充実のため、専任准教授4名で対応（うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任）(22)
	化学概論	1前	2			4	2 5 -5 2 3				より教育内容に即した担当者への変更(22)
	力学	2前	2			2	1				より教育内容に即した担当者への変更(23)
	波動と光	2後	2			2	3 1 0				専任准教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	基礎電気・電子回路第一	2前	2			1	2				平成22年度に専任教授1名が定年退職及び専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	基礎電気・電子回路第二	2後	2			2	1				教育内容充実のため、専任教授5名、専任准教授3名で対応(22)
	基礎電気・電子回路	2通	4			3	3				より教育内容に即した担当者への変更(22)
	電気・電子回路実験	2後	2			2	1 4-2 1 0 5				平成22年度に専任教授1名が定年退職及び専任教授の負担軽減のため、専任教授2名、専任准教授5名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	電磁気学第一	2前	2			2	1				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教5名で対応(23)
	電磁気学第二	2後	2			2	1				通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価の方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更(23)
	電磁気学	2通	4			3	3				教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授2名、専任助教5名で対応(23)
	工学基礎数学	2前	2			1	2				通年の教育内容を半期分を単元として実施し成績評価の方が、学習の効率化に適切であるため、通年から半期2科目とし、科目名及び単位数を変更。また、教育内容に即した担当教員への変更(23)
	化学熱力学	2前	2			1	2				専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授15名、専任講師1名、専任助教16名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	分子生物学	2後	2			1		1			専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授15名、専任講師1名、専任助教16名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	先進理工学基礎	2後	2			24	20 16 15 2 1 15 16				専任教授、専任准教授及び専任講師の負担軽減のため、専任教授20名、専任准教授15名、専任講師1名、専任助教16名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
専門科目	① 電子工学実験第一	3前	3			4	5			6	
	電子工学実験第二	3後	3			4	5			6	
	輪講	4前	1			21	16	2		15	
	卒業研究	4後	4			21	16	2		15	
	応用数学	3前	2			1	2				
	固体電子論	3前	2			1	1				
	電気回路	3前	2			1	1				
	電気回路演習	3前	1				1				
	論理回路学	3後前	2				1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	半導体工学	3後	2			1	1				
	電子回路学	3後	2			1	1				
	電子デバイス	3後	2			1	1				
	熱・統計物理学第一	3前		2		1	1				
	計算数理工学	3前		2		1	1				
	光電子材料学	3前後		2		1	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	計測物理実験学	3前		2			1				
	信号処理論	3後 4前		2			1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	回折結晶学	3後		2			1				
	基礎量子工学	3前		2		1					
	線形システム理論	3後		2		1					
	量子力学第一	3後		2			1				
	量子力学第一演習	3後		1						2	
	画像工学	3後		2			1				
	量子エレクトロニクス	4前 3後		2		1	1				教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	環境工学	4前		2		1					
	電磁波工学	4前		2			1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生物学実験	3前			2		1					
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1		1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1		1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1		2	1	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1		2	1	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2				1				
	情報処理演習第二	2後		2				1				
②	光エレクトロニクス実験第一	3前	3			5	3	1		3		
	光エレクトロニクス実験第二	3後	3			5	3	1		3		
	輪講	4前	1			21	16	2		15		
	卒業研究	4後	4			21	16	2		15		
	応用数学	3前	2			1	2					
	光電子材料学	3前後	2			1	1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	基礎量子工学	3前	2			1						
	固体電子論	3前	2			1	1					
	光波工学	3後	2			1						
	量子エレクトロニクス	3後	2			1	1					
	画像工学	3後	2				1					
	光通信工学	4前3後	2			1						バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	電磁波工学	4前3前	2				1					バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	計算数理工学	3前		2			1					
	熱・統計物理学第一	3前		2		1	1					
	生体計測工学	3前		2			1					
	物理化学	3前		2			1					
	電子回路学	3後		2		1	1					
	計測物理実験学	3前		2			1					
	通信システム学	3後		2			1					
	半導体工学	3後		2		1	1					
	熱・統計物理学第二	3後		2			1					
	信号処理論	4前		2			1					
	高分子機能科学	4前		2			1					
	生物学実験	3前			2		1					
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1		1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1		1	2	1	0			専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1		2	1	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1		2	1	1	2			専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2				1				
	情報処理演習第二	2後		2				1				
③	応用物理工学実験第一	3前	3			4	2			2		
	応用物理工学実験第二	3後	3			4	2			2		
	輪講	4前	1			21	16	2		15		
	卒業研究	4後	4			21	16	2		15		
	応用数学	3前	2			1	2					
	解析力学	3前	2			1						
	熱・統計物理学第一	3前	2			1	1					
	熱・統計物理学第二	3後	2				1					
	固体物理工学第一	3前	2			1						
	固体物理工学第二	3後	2			1						
	量子力学第一	3後	2				1					
	量子力学第一演習	3後	1							2		
	コンピュータ演習	3前		2			1					
	計測物理実験学	3前		2			1					
	計算数理工学	3前		2			1					
	固体電子論	3前		2		1	1					
	光波工学	3前後		2		1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	半導体工学	3後		2		1	1					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	光電子材料学	3後前後		2		1	1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
	回折結晶学	3後		2			1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	電子デバイス	3後		2		1						
	量子力学第二	4前		2		1						
	量子エレクトロニクス	4前3後		2		1	1					教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(22)
	電子回路学	3後		2		1	1					
	生体システム工学	4前		2			1					
	高分子機能科学	4前		2			1					
	生物学実験	3前			2		1					
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2					1			
	情報処理演習第二	2後		2					1			
④	生体機能システム演習第一	3前	1			2						
	生体機能システム演習第二	3後	1				1	1				
生	生体機能システム実験第一	3前	3			1	1	1	2			
体	生体機能システム実験第二	3後	3			3	3		2			
機	輪講	4前	1			21	16	2	15			
能	卒業研究	4後	4			21	16	2	15			
シ	無機化学	3前	2			1						
ス	物理化学	3前	2				1					
テ	有機化学	3前	2			1						
ム	生体機能分子工学	3前	2					1				
コ	生体計測工学	3前	2					1				
ー	細胞生物学	3前	2					1				
ス	分子分光	3後	2			1						
	神経科学	3後	2			1						
	有機物質工学	3後		2				1				
	量子化学	3後		2		1						
	画像工学	3後		2				1				
	環境工学	4前		2			1					
	システム生物学	4前		2		1						
	生体システム工学	4前		2				1				
	高分子機能科学	4前		2				1				
	生物学実験	3前			2			1				
	地学第一	1前			2							
	地学第二	1後			2							
	地学実験	3前			2							
	基礎数学演習第一	1前		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎数学演習第二	1後		1			1	2	1	0		専任講師が平成22年度に専任准教授に昇任(23)
	基礎物理学演習第一	1前		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	基礎物理学演習第二	1後		1			2	1	1	2		専任講師1名が平成22年度に専任准教授に昇任(23) 教育内容充実のため、専任准教授1名、専任講師2名で対応(22)
	情報処理演習第一	2前		2					1			
	情報処理演習第二	2後		2					1			

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
87	239	16	342	91	242	16	349	
				[4]	[3]	[0]	[7]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学部 先端工学基礎課程>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文社会科学科目	哲学	1・2・3・4前後		2		1						改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	倫理学	1・2・3・4後		2		4	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	心理学	1・2・3・4前後		2				1				改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	歴史学	1・2・3・4後前		2								改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	科学史	1・2・3・4前後		2				1				改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	文学	1・2・3・4後		2		1						
	美術	1・2・3・4前		2								
	音楽	1・2・3・4後前		2								改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	社会学	1・2・3・4前		2								
	経済学	1・2・3・4後前		2								改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	法学	1・2・3・4前		2								
	政治学	1・2・3・4後		2				1				
	地理学	1・2・3・4前		2								
	社会思想史	1・2・3・4後前		2								改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
	文化人類学	1・2・3・4前後		2								改組前学科の授業科目とのバランスを考慮し、開講学期を再検討し変更した。(22)
総合文化科目	科学という文化	2・3後		2								
	科学技術と人間	3・4前		2								
	自然科学的世界像	3-42・3後		2								バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更(23)
	国際文化論	2・3後		2								
	国際技術協力論	3・4前		2								
言語文化科目	Academic Written English I	1前	1			4	0					専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Written English II	1後	1					4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Spoken English I	1前	1			4	0					専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic Spoken English II	1後	1					4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	Academic English for the 2nd Year I	2前	1			4	0					専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic English for the 2nd Year II	2後	1					4	0			専任教員の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	Academic Writing in English	3前	1			1						
	Academic Presentation in English	3後	1					1				
健康科学科目	健康実践論	1前	2			1	3 2 -4					専任教員1名が平成23年度に転出のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教員1名、専任教員4名で対応(22)
理工系教養科目	宇宙・地球科学	2・3後		2		1						
	現代物理学概論	3・4前		2		1						
	環境科学	3-42・3後		2		4	0	1				バランスのとれた学習機会を提供するため、配当年次を変更。より教育内容に即した担当教員へ変更(23)
	応用幾何学	2・3後		2		4	0	1				より教育内容に即した担当教員へ変更(23)
	応用代数学	2・3後		2				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
実践教育科目	初年次導入科目	アカデミックリテラシー	1前	2			1	2	0		2	0	専任准教授、専任助教の負担軽減のため、専任教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		コンピュータリテラシー	1前	2			1	0	2	4	1		専任准教授の負担軽減のため、専任教授1名、専任助教1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名、専任助教1名で対応(22)
		基礎プログラミングおよび演習	1後	2			1	2	1				より教育内容に即した担当教員への変更(22)
		基礎科学実験	1後	2			1	4	0		1		実験教育内容充実のため、専任教授1名、専任助教1名で対応(22)
		総合コミュニケーション科学	2後	2			2						
	産学連携教育科目	技術課程演習Ⅰ	3前	2			2				2		
		技術課程演習Ⅱ	3後	2			2				2		
		インターンシップⅠ	2前後	2			1						教育体系のバランスを考慮し、開講学期を変更(23)
		インターンシップⅡ	3前	2			1						
	技術者教養科目	技術者倫理と知的財産	4前	2									
マーケティング科学		4前	2										
専門科目	理数基礎科目	基礎微積分学第一	1前	2			4	0					専任教授の負担軽減のため、兼任教員で対応。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		基礎微積分学第二	1後	2									
		ベクトルと行列第一	1前	2					4	2			教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(22)
		ベクトルと行列第二	1後	2			4	2	4	0			より教育内容に即した担当教員への変更(23) 教育内容充実のため、専任教授1名、専任准教授1名で対応(22)
		基礎解析学	2前		2		2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
		基礎物理学第一	1前	2			1						
		基礎物理学第二	1後	2					1				
		基礎物理学第三	2前		2								
		化学結合と構造	1前		2				2				
① 情報・メディア・通信プログラムコース	専門基礎科目	応用数学A	2前	2			4	2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
		応用数学B	2後	2			1	4	0	1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(23)
		確率統計	2後	2			1						教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)
		プログラミング通論および演習	2前	2			4	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)
		論理回路学	2前	2			2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
		電磁気学および演習	2前	3			4	2	2		4	0	より教育内容に即した担当教員への変更(23)
		電気回路学および演習	2後	3			4	0	2		2	0	専任教授、専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		基礎電子工学	3前	2			1	1			1		
		回路システム学	3前		2								
		離散数学	3前	2			1						
		情報通信と符号化	3前	2			1						
		アルゴリズム・データ構造および演習	3後	2					1		2		
		制御工学	3前		2								
		設計工学	3前		2								
		電子回路学	3後		2		1						
専門基礎実験A	3前	2					1						
② 情報・メディア・通信プログラムコース	専門科目	計算機工学	2後	2			4	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)
		信号処理論	3前	2					1				
		電磁波工学	3後	2					1				
		組み込みシステム	3前	2			1						
		情報メディアシステム	3後	2					1				
		知能システム	4前	2			1						
		通信・ネットワーク	3後	2			1						
		暗号情報セキュリティ	4前	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
② 電子・機械・制御プログラムコース 専門科目	計測工学	3後		2		1						
	メカトロニクス	3後		2			1					
	ロボティクス	4前		2			1					
	ヒューマンインタフェース	4前		2		1						
	先端トピックスA	4前	2			2	2					
	先端トピックスB	4前		2		2	2					
	専門実験A	3後	2				1		2			
	輪講A	4前	2			3	3					
	卒業研究A	4後		4		5	5					
	応用数学A	2前	2			+	2					教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
	応用数学B	2後	2			1	+	0	1			教育内容充実のため、専任教授1名、専任講師1名で対応(23)
	確率統計	2後	2			1						教育内容充実のため、専任教授1名で対応(23)
	プログラミング通論および演習	2前	2			+	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	論理回路学	2前	2			2						教育内容充実のため、専任教授2名で対応(23)
	電磁気学および演習	2前	3			+	2	2		+	0	より教育内容に即した担当教員への変更(23)
	電気回路学および演習	2後	3			+	0	2		2	0	専任教授、専任助教の負担軽減のため、専任准教授2名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	基礎電子工学	3前	2			1	1			1		
	回路システム学	3前		2								
	離散数学	3前		2		1						
	情報通信と符号化	3前		2		1						
アルゴリズム・データ構造および演習	3後		2			1			2			
制御工学	3前	2										
設計工学	3前	2										
電子回路学	3後	2			1							
専門基礎実験B	3前	2				1						
計算機工学	2後	2			+	0	1				より教育内容に即した担当教員への変更(23)	
信号処理論	3前	2				1						
電磁波工学	3後	2				1						
組み込みシステム	3前	2			1							
情報メディアシステム	3後		2			1						
知能システム	4前		2		1							
通信・ネットワーク	3後		2		1							
暗号情報セキュリティ	4前		2		1							
計測工学	3後	2			1							
メカトロニクス	3後	2				1						
ロボティクス	4前	2				1						
ヒューマンインタフェース	4前	2			1							
先端トピックスA	4前		2		2	2						
先端トピックスB	4前	2			2	2						
専門実験B	3後	2				1		2				
輪講B	4前	2			3	3						
卒業研究B	4後		4		3	3						

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
72	48	0	120	72	48	0	120	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
電気通信学部 (昼間コース)								東京都調布市 調布ヶ丘1丁目 5番地1号	平成22年度から 学生募集停止
情報通信工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-		-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
システム工学科	4	-		-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科 (夜間主コース)	4	-		-	工学		平成11年度		
情報通信工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-		-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
システム工学科	4	-		-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科	4	-		-			平成11年度		

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<情報理工学部 総合情報学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
12	14	2	8	36	0	13	15	2	8	38		
(12)	(14)	(2)	(7)	(35)	(0)	[1]	[1]	[0]	[0]	[2]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

4 教員組織の状況

<情報理工学部 情報・通信工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
16	18	3	13	50	0	17	17	1	11	46		
(16)	(18)	(3)	(12)	(49)	(0)	[1]	[Δ1]	[Δ2]	[Δ2]	[Δ4]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

4 教員組織の状況

<情報理工学部 知能機械工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	12	0	12	38	0	15	12	0	9	36		
(13)	(12)	(0)	(11)	(36)	(0)	[1]	[0]	[0]	[Δ3]	[Δ2]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

4 教員組織の状況

<情報理工学部 先進理工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
20	16	2	15	53	0	23	15	1	14	53		
(20)	(15)	(2)	(15)	(52)	(0)	[3]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

4 教員組織の状況

<情報理工学部 先端工学基礎課程（夜間主）>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
11	12	0	6	29	0	11	11	0	6	28		
(11)	(12)	(0)	(6)	(29)	(0)	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

5 その他全般的事項

<情報理工学部>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成23年 7月15日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.uec.ac.jp/about/publicinfo/open.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。